

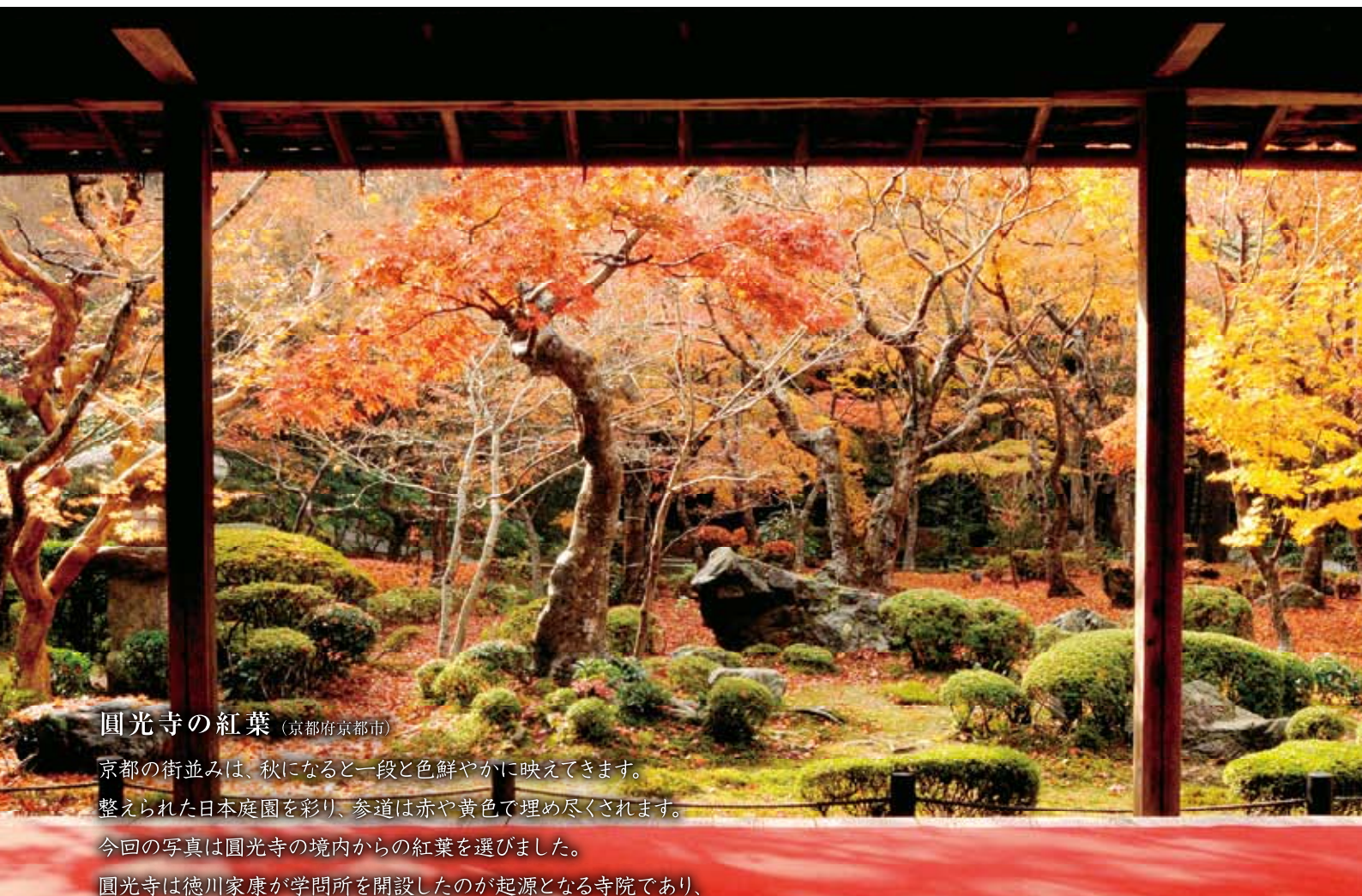
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
2010.10.01 Vol. 4



地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities -- Bridging Continents



圓光寺の紅葉 (京都府京都市)

京都の街並みは、秋になると一段と色鮮やかに映えてきます。

整えられた日本庭園を彩り、参道は赤や黄色で埋め尽くされます。

今回の写真は圓光寺の境内からの紅葉を選びました。

圓光寺は徳川家康が学問所を開設したのが起源となる寺院であり、

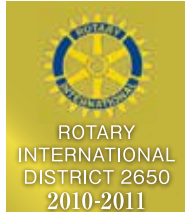
仏教書籍を刊行していたほか、日本最古の木製活字が現存しています。

勉学精神に溢れた古刹に触れるとともに、

点在する紅葉の名所を巡る旅に出かけてみませんか。

Contents

ガバナーメッセージ P 2
IM3組報告 P 3
地区委員長メッセージ P 4 ~ 5
ハイライトよねやま P 6
RリーパートII研修報告 P 6
8月会員数の増減および出席率表 P 7
8月入退会リスト P 7
文庫通信 P 7
人事のお知らせ、訂正 P 8





7月7日から始めましたガバナー公式訪問が9月末で96クラブ中50クラブを終え、過半数に達しました。以前にもメーキャップなどで自クラブ以外のクラブを訪ねたことはありましたが、今回のように各クラブを訪問したのはもちろん初めてであり、多くのことを学ぶことができました。今回は、公式訪問の中間報告としてその様子を紹介することにしましょう。

まず、公式訪問の日程ですが、直前ガバナー所属のクラブから始まり、ガバナーを輩出しているクラブを7月・8月で回ります。そして、12月中旬までに96クラブを回り、12月の諮問委員会(今年の場合は、12月18日)に報告することになります。交通手段は、原則として電車にしています。1週間のスケジュールは、福井県外へ出かけるときは2泊して一度福井に戻り、また1泊して福井に戻るといった具合です。各クラブには、これを担当するガバナー補佐に同席してもらっています。ガバナー補佐には事前にクラブアッセンブリーに出席してクラブの概要を報告していただいています。

公式訪問のパターンは、夜間例会のクラブは別として、午前11時から1時間会長さん・幹事さんとの懇談、12時半から13時半まで例会、そのうち13時から30分間ガバナーアドレス、例会終了後13時45分から15時半までクラブ協議会というものです。例会を充実するため12時15分ないし20分から昼食をとり、12時半から例会を始めるクラブもありました。また、例会の初めまたはロータリーソングのあとお互いに握手をしてあいさつするクラブもあり、いいことだと思いました。ちなみに、私の所属する福井北ロータリークラブでも友情の握手をしています。

ガバナーアドレスでは、レイ・クリンギンスミスRI会長の今年度のRIテーマ「地球を育み、大陸をつなぐ」やRIの重点事項についての説明のほか、ロータリアンにやる気を持ってもらうために国際協議会でのパストガバナーのジェニファー・ジョーンズ氏の話(ガバナー月信8月号参照)を紹介したりしています。午前中の会長さん・幹事さんとの懇談それに午後のクラブ協議会でそれぞれのクラブの実情、課題が明らかになりますが、会員数の少ないクラブでも頑張っている様子をお聞きすると嬉しくなります。

どのクラブも会員増強が課題となっています。会員増強さえ進めばいいことなし、というクラブがいくつもありました。会員増強を図るにはクラブを魅力のあるものにしなければならないと、このことに力を入れたいとするクラブや、ここ数年のうちに5~6人は増やしたいという意欲的なクラブもあり、心強く感じました。

国際ロータリー 第2650地区 ガバナー **栗田 幸雄**

「ロータリーを解剖する」

京都西南RC・IM実行委員長 佐伯 希彦 (さえき まれひこ)



2010年8月21日(土)にIM第3組を京都ホテルオークラで開催した。当京都西南RCは昨年8月にホスト担当が決定した直後から準備に取り組み、ゼネラルリーダー(以下「GL」とする。)を橋本長平パストガバナー(京都東RC)に依頼、即お引き受けいただき、年末から橋本GLと協議を開始した。プログラムの具体案を検討するなかで、橋本GLからの提案は

1. IM第3組テーマを「ロータリーを解剖する」ではどうか。
2. 地区の会員全員参加型のプログラムにしたい。

の2点であった。我々担当者一同はテーマがユニークで素晴らしいと(もう一つ良く分らないままに)直ちに賛成、これに決定した。2点目の全員参加は当第3組がクラブ数35、会員数約2,000人と地区最大の規模であり、どうすれば趣旨が生かせるか橋本GLと数回協議する中で、当地区の4名のガバナー補佐に受け持ちクラブから3クラブずつ選んでもらい、計12クラブからそれぞれ1名がテーマを決めて意見発表、後半この12名とガバナー補佐4名、さらに会場から発言者を求めているディスカッション、となった。このプログラムをメインに据えさらに魅力あるプログラムを検討しているところに、地区最古参のパストガバナー、地区特別顧問の千玄室氏(京都RC)から基調講演をしようとの申し出を受け、これ

で最強のプログラムになったと大喜びした次第である。

当日の全体スケジュールは、午前中からの地区関連会議が3つ「規定審議会制定案説明会」、「広報・会員増強・ロータリー情報合同クラブ委員長会議」、「地区諮問委員会」。さらにIM関連会議・催しが2つ「IM第3組会長会議」、「裏千家のご厚意による呈茶席」。本番のIM第3組プログラムとして「開会式」、「第1部基調講演」、「第2部IM第3組12クラブ各代表5分スピーチとディスカッション」、「閉会式」、「懇親会」と盛り沢山。

当日は登録者数1,162人、37℃を越える猛暑日のなか冷房の良く利いた会場で千玄室パストガバナーの基調講演には他地区のパストガバナーも聴講にこられ、世界各地のロータリー実態から最近のロータリー曲がり角論に触れ今こそロータリーを解剖して原点に戻るべきとの講演は、大きな感銘を与えた。

第2部は12名の各クラブ代表がサブテーマ「ロータリーの心について」、「クラブとRIとの関係について」、「ロータリアンの質は向上していると思うか」、「ロータリーにおける出席の意義」について意見発表、続くディスカッションには会場から3人の発言もあり熱気に満ちた2時間10分であった。栗田幸雄ガバナーの大局からの指導もあり成功裡に終了したことを感謝している。



職業奉仕月間に因んで ～ロータリー創設時の職業奉仕理念～

地区職業奉仕委員会 委員長 本多 保博 (ほんだ やすひろ) 京都紫野RC



「He profits most who serves best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリー・モットーを提唱し、職業奉仕理念の父とも言われるアーサー・フレデリック・シェルドンを正しく理解できる資料は、2000年以前には公開されていませんでした。

この資料を発見、翻訳されたのが田中 毅氏 (2011～2012年度RI会長代理に選出) です。今回はこれらのスピーチ原稿と、そのスピーチが行われた年次大会の議事録を辿ることによって、シェルドンの職業奉仕理念を皆さまにお伝えしようと思います。

シェルドンは、1908年シカゴクラブに入会し、1930年に退会するまでの22年間で、都合4回職業奉仕の理念を説いています。1910年、1911年、1913年、1921年、それぞれ国際大会での講演です。このうち、1921年エジンバラ大会で発表した「ロータリー哲学」と題するスピーチ原稿は、1991年に神崎正陳バスターガバナーが東京のロータリー文庫で発見し、それを小堀憲助氏が翻訳しました。1910年、1911年、1913年のスピーチ原稿は、2000年と2001年に田中 毅氏がRI本部の資料室で見つけ出して、1921年のスピーチ原稿と共に翻訳して発表されました。

これから記載する内容は、資料を発見し翻訳された田中 毅氏の主観に基づいた解釈ではなく、シェルドン本人の考えと公式な大会議事録を読み取ったものですから、職業奉仕の絶対的な真理であると考えられます。従って、この4回のスピーチ原稿を理解すれば、シェルドンが説く職業奉仕の理念、つまり、ロータリー創設時の職業奉仕理念を理解することができると言えます。

それでは、シェルドンが説いた職業奉仕理念とは具体的にどのようなものだったのでしょうか。紙面の都合上、そのすべてをお伝えすることは叶いませんが、1913年バッファロー大会における「事業を成功させる哲学と職業倫理」と題されたスピーチは、1911年の内容を更に具体的に説明すると共に、この後に発表した1921年スピーチの原本とも言うべきものです。この1913年の原稿で述べている内容を、

今回は抜粋してご紹介させていただきます。

要約すれば次のようになります。

- 原因結果論から職業奉仕を説く。火という原因によって、熱という結果が生まれる。強い火によって大きな熱が得られるように、大きいServiceを行えば、大きなProfitsが得られる。
- Serviceを行った人が、現世において受け取る見返りが、Profitsである。すなわち、商売上、適正なProfitsを得ることは極めて正常な行為である。
- 黄金律「すべての人にせられんと思うことは、他人にもその通りにせよ」をビジネスの世界に適用した言葉が、“He profits most who serves best”。
- 1921年のスピーチに出てくる「奉仕の三角形」は、シェルドンが考案出したものではなく、インドの哲学者バガバン・ダスの書籍から引用。シェルドンの奉仕理念には東洋的思考が大きく影響。
- どのようにして開発し、発展させ、成長させるかという原因によって、人間の能力という結果が生まれる。これが教育。彼がビジネススクールを設立するきっかけとなった教育論を具体的に述べる。その中で、教育とは知識を教えることではなく、その人の能力を引き出し、それを成長させることと結論。

追記として、1921年原稿の要約も併載しておきます。

- “He profits most who serves best”というロータリーの奉仕哲学は、自然の法則であり、宇宙の摂理にかなった法則。絶対的なもの、絶対不変なもの、これがロータリーの職業奉仕理念である。ロータリーの奉仕哲学は、継続的に利益を得るための人間関係の基本的原則である。
- 奉仕哲学は、原因によって結果が証明できる科学であるという前提から、「奉仕」と「自我」と「利益」の関係を明確に説明。すなわち、奉仕の原理は継続的に利益を得るための人間関係の基本的法則。一見さんだけを相手にしていたのでは、事業の発展はない。職業奉仕とは、リピーターを得るための科学的かつ道徳的な経営方法である。リピーターが再三訪れる店は、当然のことながら高い商道德を持つ。職業奉仕の実践は結果として高い職業倫理に繋がる。

都合4回の国際大会スピーチ原稿は、改訂第3版「ロータリー情報マニュアル」に、すべて掲載されています。「歴史的文書」の項目P.496に1910年の講演、同P.509に1911年講演、同P.520に1913年スピーチ原稿(初掲載)、同P.543に1921年スピーチ原稿。詳しくはこれらを読破されることをお勧めいたします。

栗田幸雄ガバナーのスローガン～真のロータリアンをめざして～「ロータリーを良く学び、変化を知り、忘れたことを思い出そう」を受けて、ロータリー創設時の職業奉仕理念について、述べさせていただきました。

(参考文献出典:職業奉仕 理論と実践の徹底的分析 田中 毅著)

お金では得られない感動を皆様の手に

地区米山奨学委員会 委員長 岩橋 忠昭 (いわはし ただあき) 京都東山RC



ロータリー米山記念奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としています。その使命は、“将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動の理解者となる人材を育成”することにあります。

奨学事業の価値はどんな奨学生を採用したか、奨学事業にとっての“どんな奨学生に育てたか、育ててくれたか”です。奨学生はロータリアンとの交流を通じて、奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨き、人生観と、職業観を深めます。また、ロータリアンにとっても、金銭的な支援だけでは得られない感動と、事業への深い理解が生まれて、さらなる支援への意欲を盛り立てます。奨学生、ロータリアン双方にとって、大きな感動を生む事業だからこそ、50年以上も継続し、全国規模に発展、財団法人の設立に至り、日本最大の民間事業に成長しています。

奨学生に求められる優秀性とは

- 学業は「学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする」
- 異文化理解に対しては「異なる文化・習慣などを理解する努力をする」
- コミュニケーション能力は「言語のみならず人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受け入れる柔軟な姿勢を持つ」

このように崇高な事を掲げていますが、「日本のこの経済情勢下で」、「奨学生も一国に偏っているのでは」、「裕福な奨学生達が多いのでは」、「経済大国の国の学生に」等々、お聞きします。しかし私は、「暫くお待ちください、やっと学友達が活躍しだし、日本との懸け橋になるろう、恩返しをしよう」と花が咲き実を結ぼうとしています」とお願い致します。

地区委員会は、この素晴らしい米山奨学事業をロータリアンにご理解いただこうと機会を捉えて、DVD『すばら

しい贈り物』(米山奨学事業紹介、カウンセラーさんと奨学生編)と『心をつないで、世界へ』(学友の活躍編)を積極的に活用し、皆様方の感動を得られるように致しております。又、ロータリー米山奨学事業の内容を凝縮した“豆辞典”をご紹介します。ご紹介します。「見たこともない」、「見た事はあるが読んだことはない」とお聞きしますが、この“豆辞典”は毎年10月の米山月間に向け、米山記念奨学会より9月下旬には各クラブへクラブメンバー分を送付されます。今年度はまずこの“豆辞典”をお読み下さるよう機会を捉えてお願いをさせていただきます。

さて地区の年間行事ですが

7月 ● 4ブロックで米山奨学生集会の開催

奨学生とカウンセラーさんに10月の米山月間での卓話での依頼を中心として、奨学生への注意事項と意識合わせを行います。

8月 ● 4ブロック クラブ委員長会議

DVDの活用、地区の年間活動計画をご説明し、委員長には米山奨学事業の第一理解者となり、ロータリアンのご協力を得るための推進役となって頂きます。

9月 ● 4ブロック 指定校担当者会議 (地区内42校、99名の推薦者依頼)

担当には米山奨学に相応しい留学生を推薦して頂くため、「ロータリークラブ」とは「ロータリアンと米山奨学事業」についてご説明し、ご理解を得てご協力要請いたします。

10月 ● “米山月間”

目標金額達成への月間です。ご協力をお願いします。各クラブへはアプローチ用品のご案内を致します。また“豆辞典”のご一読をお願いして下さい。「米山奨学生の卓話」で感動を得て下さい。

12月 ● 奨学生選考面接試験

1月(2011) ● 奨学生のお世話クラブへのご案内

3月 ● 米山奨学生修了式

4月 ● 新米山奨学生とカウンセラーのオリエンテーション

5月 ● クラブ別委員長会議

6月 ● 地区委員会議

以上です。

寄付額については、2009/7月～2010/6月(年間)は34地区で過去累積額一位、お一人当り平均寄付額、(21,026円)で三位した。因みに一位が2590地区で(30,227)、二位は2770地区で(22,299円)でした。皆様のお陰です。有難うございました。本年も目標金額24,000円の達成に向けて各位のご協力をお願い致します。

最後に当たり一部抜粋のお礼と至らぬところは友情に免じてお許し下さい。今後とも米山奨学事業の発展のため皆様方の御協力をお願い致します。


ハイライトよねやま Vol. 127

 問い合わせメール: highlight@rotary-yoneyama.or.jp

 米山記念奨学会ホームページ: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

1. 寄付金速報 — 米山月間に向けての寄付状況は? —

8月までの寄付金は前年同期と比べて1.9%増、約560万円の増加となりました。8月のみの単月寄付額としては過去10年間で2番目に高い結果となりました。今年度は税制優遇の対象が昨年よりも拡大し、普通寄付金にも適用可能になるなど、寄付のメリットが増えています。10月の米山月間には、事業理解の推進とともに、さらなる寄付の呼びかけをお願い申し上げます。

2. 理事会・評議員会開催報告

8月30日に2010年度第1回評議員会、翌31日に第1回理事会が、都内で開催されました。

主な
評議員会
決議

- 2009年度事業報告・決算報告の承認:それぞれ原案通り承認
- 2010年度収支予算一部修正:2009年度決算数字に基づき、2010年度収支予算上の一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、正味財産期末残高の修正が提案され、承認された
- 2010年度評議員1名選任:6月3日の理事会で2010年度評議員を選任したが、その後、第2600地区ガバナーより評議員の推薦があり、未定となっていた1名が選任された。→2010年度第2600地区評議員 都築文男氏(塩尻RC)
- 海外応募者対象奨学金制度:原案通り承認されたが、「日本語運用能力を問わない場合、カウンセラー選任やロータリアンとの交流に支障が出ないか」、「地区委員会の負担が増大する」、「対象を低所得国とするなどの条件設定が必要では」といった意見も出され、本制度の試行が承認された。制度の内容は試行中に見直される
- 会合旅費規程一部改定:算出起点を「自宅」とする改定が承認され、8月30日から施行となった

主な
理事会
決議



3. 台湾の学友夫妻から10万円の寄付

8月初旬、第2650地区元米山記念奨学委員の伊藤勝悟氏(草津RC会員)が台湾南部の高雄市に米山学友の蘇南彰さん・蔡璧如さんご夫妻を訪問した際、お二人から「お世話になった米山奨学会に御礼がしたい」と、寄付金10万円を託されたとのことでした。夫の蘇さん(2002-04/大津RC)は歯科医、妻の蔡さん(2002-03/草津RC)は義守大学経済学部准教授と、夫婦共に活躍されるお二人は、米山奨学生としての出会いがきっかけで結婚。当時、地区米山委員としてお二人と関わった伊藤氏とは現在も親しく交流が続いているそうです。



4. タイでのWCS活動に米山学友が協力

豊橋ゴールデンRC(第2760地区)ではWCS活動として、タイのスリウオンRC(第3350地区)と協力して、聴覚障害児の小学校に10万円分の図書を寄贈。7月19日に現地で行われた贈呈式では、米山学友のジャンミシー・パッタモンさん(タイ/2001-03/豊橋ゴールデンRC)が通訳として協力しました。



お知らせ

米山の資料が全クラブへ届きます!

今年も米山月間【10月】用資料を全ロータリークラブへお届けします(9月18日発送完了予定)。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。

※理事、ガバナー、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

RLIパートII研修開催

さる9月5日、京都市の京都リサーチパークにおきまして、「RLIパートII研修」が開催されました。85クラブ、総勢144名の参加者がありました。



第2650地区 2010年8月会員数の増減 および 出席率表

京都府 42クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
綾部	32	0	0	32	31	1	0	3	100.00	0
福知山	60	0	0	60	59	1	0	3	90.69	0
福知山西南	48	0	0	48	46	2	0	5	96.91	1
亀岡	35	0	0	35	35	0	0	4	100.00	0
亀岡中央	20	0	0	20	19	1	0	3	100.00	2
京丹後	33	0	0	33	33	0	0	3	83.86	2
京都	184	1	0	185	184	3	2	3	98.64	0
京都伏見	89	0	2	87	87	2	2	3	92.68	4
京都平安	29	0	0	29	29	0	0	4	75.71	4
京都東	102	0	0	102	102	0	0	3	97.05	0
京都東山	80	0	0	80	80	0	0	4	99.25	2
京都北東	34	0	0	34	34	0	0	3	93.48	0
京都城陽	31	0	0	31	31	0	0	3	93.30	1
京都桂川	34	0	0	34	34	0	1	3	92.28	0
京都北	64	0	0	64	65	0	1	3	97.14	0
京都南	211	0	0	211	212	0	1	3	93.23	0
京都モーニング	49	0	0	49	49	0	0	3	90.91	3
京都紫野	62	0	0	62	60	2	0	5	100.00	0
京都中	42	0	0	42	41	1	0	4	100.00	0
京都西	112	0	0	112	112	0	0	4	100.00	0
京都西山	20	0	0	20	19	1	0	3	93.87	0
京都乙訓	32	1	0	33	32	1	0	3	90.41	0
京都洛中	78	1	0	79	78	1	0	4	100.00	0
京都洛北	67	0	1	66	66	1	1	3	86.37	0
京都洛南	35	0	0	35	35	0	0	4	90.98	1
京都洛西	47	0	0	47	47	0	0	4	93.49	6
京都洛東	35	0	1	34	35	0	1	3	91.43	0
京都嵯峨野	25	0	1	24	25	0	1	3	79.17	0
京都さくら	28	0	0	28	28	0	0	3	93.68	5
京都西北	48	0	0	48	48	0	0	3	94.57	0
京都西南	49	1	0	50	49	1	0	4	95.00	5
京都紫竹	44	0	0	44	44	0	0	3	87.53	1
京都朱雀	38	0	0	38	38	0	0	4	95.16	2
京都田辺	20	0	0	20	20	0	0	3	96.49	2
京都山城	36	0	0	36	36	0	0	3	98.92	0
京都八幡	29	0	0	29	27	2	0	4	91.27	1
舞鶴	26	0	0	26	27	1	1	4	94.04	0
舞鶴東	45	0	0	45	45	0	0	4	87.62	0
宮津	42	0	0	42	42	0	0	4	90.00	0
園部	26	0	0	26	26	0	0	4	97.83	0
宇治	39	0	0	39	39	0	0	4	97.88	0
宇治鳳凰	45	0	0	45	45	1	0	3	96.30	4
小計	2,205	4	5	2,204	2,194	22	11	3.5	93.74	46

奈良県 13クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
あすか	53	0	0	53	53	0	0	3	88.57	0
五條	25	0	0	25	25	0	0	4	97.00	0
平城京	33	0	0	33	33	0	0	3	95.89	3
生駒	30	0	0	30	30	2	0	3	78.89	1
橿原	61	0	0	61	61	0	0	3	82.42	2
奈良	147	0	0	147	144	3	0	3	97.15	4
奈良東	41	0	0	41	42	0	1	3	95.77	0
奈良西	48	0	0	48	48	0	0	3	93.75	1
奈良大宮	69	0	0	69	69	0	0	4	93.40	0
王寺	22	0	0	22	22	0	0	4	90.69	2
桜井	48	0	0	48	47	1	0	3	92.66	0
大和郡山	49	0	1	48	49	0	1	4	90.30	0
大和高田	93	0	0	93	93	0	0	4	95.34	2
小計	719	0	1	718	716	6	2	3.4	91.68	15

福井県 19クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
福井	119	0	0	119	115	4	0	4	62.80	4
福井あじさい	45	0	0	45	45	0	0	3	75.83	3
福井フェニックス	42	0	0	42	41	1	0	4	79.17	9
福井東	30	0	0	30	30	0	0	4	70.41	2
福井北	115	0	0	115	115	0	0	3	85.96	5
福井南	52	0	0	52	52	0	0	4	72.84	0
福井西	32	0	0	32	32	0	0	3	74.14	0
福井水仙	21	0	0	21	21	0	0	4	57.14	1
勝山	28	0	0	28	27	1	0	4	97.22	2
丸岡	36	0	0	36	36	0	0	3	85.38	0
三国	28	1	0	29	27	2	0	4	89.10	3
大野	27	0	0	27	28	0	1	4	77.00	2
鯖江	36	0	0	36	36	0	0	3	85.73	1
鯖江北	18	0	0	18	18	0	0	3	77.03	0
武生	63	0	0	63	62	1	0	4	80.79	2
武生府中	34	1	0	35	34	1	0	4	94.16	0
敦賀	38	1	0	39	37	2	0	3	86.58	0
敦賀西	21	0	0	21	21	1	0	4	85.71	1
若狭	33	0	0	33	32	1	0	4	96.21	0
小計	818	3	0	821	809	14	1	3.6	80.70	35

滋賀県 22クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
びわ湖八幡	50	0	2	48	50	0	2	3	85.72	2
五箇荘能登川	24	0	0	24	24	0	0	4	69.58	0
東近江	45	0	0	45	45	1	1	3	89.92	0
彦根	65	2	0	67	64	3	0	3	94.19	4
彦根南	62	2	0	64	62	2	0	4	93.77	0
湖南	34	0	0	34	34	0	0	3	100.00	2
草津	42	0	0	42	42	2	0	3	91.04	0
水口	44	0	0	44	43	1	0	4	96.15	0
守山	46	0	0	46	44	2	0	3	91.11	0
長浜	62	0	0	62	61	1	0	4	93.03	0
長浜東	66	0	0	66	65	1	0	3	92.22	0
長浜北	25	0	0	25	24	1	0	4	84.00	0
近江八幡	49	0	0	49	48	1	0	3	94.15	1
大津	102	2	1	103	100	4	1	4	100.00	0
大津中央	29	0	0	29	29	0	0	3	82.76	1
大津東	21	0	0	21	21	0	0	3	87.06	1
大津唐橋	18	0	0	18	18	0	0	3	75.46	0
大津西	23	0	0	23	23	0	0	3	100.00	0
栗東	31	0	0	31	31	1	1	3	86.22	1
高島	41	0	0	41	41	0	0	3	96.24	1
野洲	33	0	0	33	33	0	0	4	91.13	1
八日市南	53	0	0	53	51	2	0	4	81.46	2
小計	965	6	3	968	953	22	5	3.4	89.78	16

合計 96クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
小計	4,707	13	9	4,711	4,672	64	19	3.5	89.97	112

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、8月会員数および入退会者累計数は8月末現在です。
- ・今年度の「期首会員数」は、平成22年7月1日現在の会員数です。

8月新入会員

クラブ名	氏名	職業分類
京都	竹本 卓司	警備保障業
京都洛中	浦山 哲	建築請負
京都西南	加芝 雄樹	弁護士
京都乙訓	山本 寛	建設機械
彦根	岡田 眞智子	時計宝石販売
彦根	大塚 義和	労働問題コンサルタント
彦根南	安田 勉	建築土木
彦根南	泉 藤博	不動産業
大津	馬場 章	地方放送
大津	上野 孝司	地方新聞
三国	山本 信次	建築材料
敦賀	肥田 善雄	原子力発電保守管理
武生府中	中西 明彦	農業

8月退会会員

クラブ名	氏名
びわ湖八幡	西川 峻治
びわ湖八幡	田中 茂男
京都伏見	亀谷 進一
京都伏見	菊井 知彦
京都洛北	平岡 幹晃
京都洛東	藤本 博史
京都嵯峨野	藤田 善規

8月逝去会員

謹んでお悔やみ申し上げます

クラブ名	氏名	日付・年齢
大津	吉田賢次郎様	8月6日ご逝去 享年88歳
大和郡山	大石 恒義様	8月10日ご逝去 享年79歳

人事のお知らせ

この度、ガバナー事務所相談役の就任ならびに、地区委員長の交代がございましたのでお知らせします。

- ガバナー事務所相談役 上西 阿沙氏
- 財団資金推進委員長 中井 昭典氏

文庫通信 275号 & 276号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年の記念事業の一つとして1970年に創設された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

【275号】地区大会講演より

- ◎「ロータリーの歴史をふまえて」
南園 義一 2010 2p (D.2770)
- ◎「UNDP親善大使として、見たこと、感じたこと」
紺野 美沙子 2010 2p (D.2770)
- ◎「日本人のこころ」
徳川 恒孝 2010 10p (D.2590)
- ◎「日本のこれから」
藤原 正彦 2010 4p (D.2590)
- ◎「世界の水問題」
金杉 誠 2010 6p (D.2590)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 日本人の職業倫理」
島田 燐子 2010 3p (D.2530)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」
木戸 邦考 2010 4p (D.2530)
- ◎「現代に生かす 戦国武将の知恵」
松平 定知 2009 8p (D.2800)

【276号】地区大会報告書より

- ◎「運命とロータリーの未来」
ビチャイ・ラタクル 2010 12p (D.2670)
- ◎「よきロータリアン 指導者としてのロータリアン」
渡辺好政 2010 14p (D.2710)
- ◎「ロータリー財団」
北 清治 [2010] 5p (D.2560)
- ◎「ロータリーの原点を知る『決議23-34号』パネル・ディスカッション」
安孫子貞夫 他 [2010] 13p (D.2800)
- ◎「世界と高知 会員の状況」
杉谷卓紀 2010 5p (D.2670)
- ◎「江戸時代の日本に学ぶもの」
徳川恒孝 [2010] 5p (D.2560)
- ◎「これからの日本」
小泉純一郎 2010 9p (D.2630)
- ◎「落語でお伊勢参り」
桂 文我 2010 6p (D.2630)

【上記申込先：ロータリー文庫（コピー / PDF）】

ロータリー文庫 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

訂正

月信3号におきまして誤りがございましたので、この場で訂正させていただきます。

●7ページ目、7月会員数の増減および出席率表 京都嵯峨野RCと京都さくらRCの数値が逆になっておりました。



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2010-2011

国際ロータリー第2650地区
2010-2011年度 ガバナー 栗田幸雄

ガバナー事務所 ● 〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 Email: gov2010-11@rid2650.gr.jp